

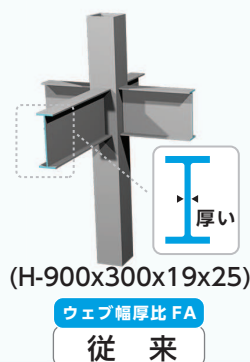
薄肉ウェブ梁座屈補剛工法

梁端部に縦スチフナを配置することで変形能力を向上させる工法です

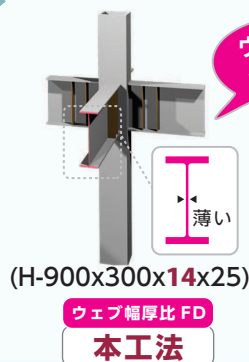
特長

- ウェブ幅厚比が大きい梁の幅厚比種別を FA ランクとして構造計算が可能です。
- ウェブの鋼材重量を削減します。
- 縦スチフナによる補剛範囲のコンパクト化により梁中央部の設計自由度を確保します。

工法を適用すると



同等の塑性
変形性能



重量
12% 減

※梁長さ 15mとしたときの
梁 1 本分の鋼材重量の削減効果
(スチフナ重量分も含める)

**CO2
削減**



物流倉庫 [3 階建 / 延床 30,000m²] の梁に本工法を適用した場合

梁長さ: 15m、本数: 100 本、梁サイズ: H-900x300
ウェブ板厚: 従来 tw=19 → 本工法 tw=14

$(3.67-3.17) / t \times 100 \text{ 本} \times 2,000 \text{ kg-CO}_2 \text{ eq/t} / 14 \text{ kg-CO}_2 \text{ eq/t} = 7,140 \text{ 本}$
50 年スギ炭素貯蔵量: 14 kg-CO₂ / 本 / 年として換算 (林野庁 HP: 森林の二酸化炭素吸収力より)

カーボンニュートラルに必要な杉

**約 7,100 本
削減**



JFE スチール 株式会社
建材技術部 建築技術室

TEL:03-3597-4129
FAX:03-3597-3825

建築製品
サイト

